

一般社団法人 日本薬学教育学会 第2回理事会 議事録

開催日時：令和3年8月17日（火）10：00～12：00

開催場所：WEB 会議システム（ZOOM）による開催

<https://us02web.zoom.us/j/82828155338?pwd=SUY1aTFaNFNPU0E0NU9EQ0h2N1Zndz09>

理事：乾 賢一、中村 明弘、有田 悦子、石川 さと子、入江 徹美、奥田 真弘、
亀井 美和子、木内 祐二、鈴木 匡、高橋 一栄、
武田 香陽子、永田 泰造、西口 工司、長谷川 洋一、安原 智久

<欠席>：小佐野 博史

監事：林 正弘、吉富 博則

事務局：斎藤 渉、村上 聡

議事：

定款第35条第2項に基づき、議事録には乾理事長と林監事、吉富監事が署名又は記名押印することが確認された。

1. 前回理事会議事録案について（承認事項）

中村理事より議事録（案）に基づいて前回理事会の議事内容が報告され、議事録として承認された。

2. 2020年度事業報告について（協議事項）

中村理事より2020年度事業報告案が資料に基づいて紹介され、本案を定時社員総会に諮ることが承認された。

3. 2020年度決算報告について（協議事項）

亀井理事より2020年度収支計算書に基づいて2020年度（2020年7月1日～2021年6月30日）の決算が報告された。収入の合計は16,848,128円、支出の合計は12,778,889円で、4,069,239円の収入超過となった。次期繰越収支差額は17,072,659円で、2021年6月30日現在の貸借対照表および財産目録における正味財産と一致することが確認された。

事務局からは、本決算について公認会計士より適正との監査結果が得られたので、監事に監査を依頼することが報告された。

定時社員総会には収支計算書、貸借対照表、財産目録、公認会計士による監査報告書、監事による監査報告書を提出することが確認された。

4. 2021年度事業計画（案）について（協議事項）

中村理事より2021年度事業計画案が資料に基づいて紹介され、本案を定時社員総会に諮ることが承認された。

5. 2021年度収支予算（案）について（協議事項）

亀井理事より2021年度の収支予算（案）が資料に基づいて説明された。収入の合計は18,826,000円で、内訳として会費収入は9,776,000円、大会収入は6,990,000円とした。支出の合計は18,767,000円で、基本的には2020年度の実績に基づいて各科目の計上を行ったことが報告された。学会誌制作費には、編集委員会で企画した「COVID-19パンデミック下での薬学教育」の別刷制作費50万円が含まれていることが紹介された。旅費・交通費および会議費としては、理事会を対面開催で2回、その他はオンライン開催とすることを想定した。会計士の監査は学会会計と第6回大会会計についてそれぞれ受けるため、2回分を計上している。予備費が0円となっているが、当期収支差額が824,000円あるので、予備費を計上することとした。また、2021年度は役員選挙を実施するので、選挙費用を計上する必要があることも指摘された。選挙費用と予備費を追加計上した収支予算案を作成し、理事および監事の確認を得た上で定時社員総会に諮ることとした。

6. 第6回大会準備状況報告（報告事項）

長谷川理事より第6回大会の準備状況が報告された。参加者登録は429名で、8月10日に要旨集を発送し、ログインパスワードは8月17日か18日に配信する。一般演題は69題で8月20日から22日まで公開する。ウェビナーとシンポジウムの接続テストは8月20日に実施する予定。ワークショップ（WS）の参加申込みは、WS1が16人（16人募集）、WS2が10人（30人募集）、WS3が17人（36人募集）。寄付は4社から28万円集まった。大会1日目の17:30~19:00にWeb会議ツール「Remo」を用いた情報交換会を企画している。

7. 総会シナリオについて（協議事項）

事務局より定時社員総会の出席者数と委任状の数が報告された。オンライン総会は事務局が運営し、乾理事長は自宅から、中村理事と亀井理事は事務局から総会に参加する。監事報告は林監事が担当し、第7回大会の挨拶は開催校の北里大学の岡田学部長が行うことを確認した。

8. 第7回大会準備状況報告（報告事項）

有田理事より第7回大会の準備状況が報告された。大会事務局の体制を準備中で、第8回大会を担当する入江理事にも実行委員を依頼した。シンポジウムには中村理事と高橋理事から提案があったことが報告された。シンポジウムを一般公募するかは検討中であるが、ワークショップは一般公募する予定。開催形式は対面とオンラインのハイブリッドを検討している。

9. 第8回大会開催校について（協議事項）

乾理事長より2023年の第8回大会開催校として熊本大学が提案され承認された。入江理事からは学部長の内諾を得ていることが報告された。

10. 共催・後援基準内規案について（協議事項）

新規策定中の共催・後援基準内規について事務局より修正案が資料に基づいて提示され、修正点（「原則として」の追記）を確認して承認された。

第6回日本老年薬学会大会の後援依頼については本内規を満たしており、同大会の後援が承認された。なお、依頼状の宛名が「代表世話人」となっているため、「理事長」宛に修正を依頼することとした。

11. 大会時の広報依頼について（協議事項）

他の学会や学術集会から、本学会の大会での広報の依頼が届いていることが、事務局より資料に基づいて紹介された。大会の実行委員会に判断を任せるのが一般的であることから、本学会においても大会の実行委員会（あるいは事務局）に対応を委ねることとした。第6回大会の事務局には日本臨床腫瘍薬学会と日本医療薬学会からバナーでの広告依頼が届いており、大会ホームページにバナー表示する予定であることが長谷川理事より報告された。第43回日本病院薬剤師会近畿学術大会からもバナー掲載の依頼が届く予定であることが紹介された。

12. 委員会報告（報告事項）

・編集委員会報告

入江理事より、編集委員会で企画した特集「COVID-19 パンデミック下での薬学教育～レジリエントな教育システム構築に向けて～」は第5巻冊子体に掲載すると共に、別刷を1,000部作成し会員に送付する予定であることが報告された。中長期的な特集のあり方については編集委員会で検討していく。編集委員会から平田委員と大谷委員が退任予定であることが報告された。

・倫理教育委員会報告

有田理事より、第6回大会においてワークショップを企画し、募集定員とした16人の参加申し込みがあったことが報告された。申込者は大学、病院、薬局と異なるバックグラウンドを有している。大会での倫理系ワークショップの開催は3大会連続で、倫理教育委員会としては初めてとなる。

13. 会員登録状況報告（報告事項）……「2020年度事業報告」参照

事務局より資料に基づいて7月31日時点の会員数と会費納入率が報告された。会員総数は808件（個人会員678、学生会員56、機関会員66、賛助会員8）、会費納入率は70.5%であった。会費未納者には8月に2回目の会費請求を行う予定であることが紹介された。

14. その他

乾理事長より、文部科学省に設置された「薬学系人材養成の在り方に関する検討会」の委員に選任されたことが報告された。

石川理事からは、日本医学教育学会の多職種連携教育部会の活動について情報共有が図られた。木内理事からは、同部会委員の大槻教授（藤田医科大学）が日本保健医療福祉連携教育学会の理事に選任されたことが紹介された。両学会との連携に向けて準備を進めていくことが確認された。

奥田理事からは、定時社員総会と理事会の議事録公開の現状について確認があった。学会誌「薬学教育」冊子体に、定時社員総会については議事録を、理事会については議題のみを掲載している。学会ホームページでの会員に向けた理事会議事録公開について検討することとした。

以上の議事内容を明確にするため、本議事録を作成し、理事長及び出席監事がこれに署名捺印する。

2021年8月 17日

一般社団法人 日本薬学教育学会

理事長 乾 賢一

監 事 林 正弘

監 事 吉富博則